

水生生物モニタリング調査結果一覧(相馬市沖)

<相馬市沖L 水質底質採取項目>

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
L-1	-	-	-	-	-	-
L-2	-	-	-	-	-	-
L-3	-	-	-	-	-	-

<相馬市沖L 現場測定項目>

項目	調査緯度・経度		日	調査日時		水質					底質		その他	
	計画緯度	計画経度		時刻(水)	時刻(泥)	水温()	泥温()	性状	色相	混入物	全水深(m)	透明度(m)		
L-1	37.8210°	140.9610°	H27.10.28	-	09:55	-	16.4	砂混沙	7.5Y3/1	なし	-	-		
L-2	37.8155°	140.9763°		08:35	09:25	16.5	17.1	砂	5Y3/2	なし	1.6	>1.6		
L-3	37.8217°	140.9765°		08:20	09:35	16.7	16.9	沙混砂	7.5Y3/1	なし	1.7	>1.7		

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目	調査緯度・経度		日	調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	計画緯度	計画経度		時刻(水)	時刻(泥)												
L-2	37.8155°	140.9763°	H27.10.28	8:35	8:1	8.1	0.6	1.7	7.6	5100	32.82	1.0	6	1.8	0.0048	0.022	-
L-3	37.8217°	140.9765°		8:20	8:1	8.1	0.6	1.7	7.7	5090	32.78	1.0	11	2.0	0.0059	0.022	-

<相馬市沖L 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目	調査緯度・経度		日	調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	計画緯度	計画経度		時刻(水)	時刻(泥)							礫 (2-75mm) (%)	粗砂 (0.85-2mm) (%)	中砂 (0.25-0.85mm) (%)	細砂 (0.075-0.25mm) (%)	シルト (0.005-0.0075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径	最大粒径			
L-1	37.8210°	140.9610°	H27.10.28	9:55	7.5	31	38.3	4.6	7.9	2.677	2.677	4.5	5.0	14.3	36.5	24.1	15.6	0.13	9.5	34	180	-
L-2	37.8155°	140.9763°		9:25	7.4	194	20.8	1.0	2.2	2.721	2.721	0.1	2.2	74.1	21.1	1.5	1.0	0.30	4.8	13	49	N.D.(0.15)
L-3	37.8217°	140.9765°		9:35	7.6	57	26.9	1.5	1.6	2.720	2.720	0.0	0.7	55.5	37.2	3.0	3.6	0.27	2.0	17	71	-

<相馬市沖L 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)		Sr-90 (Bq/kg-wet)			
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	Cs-134	Cs-137				
L-1 L-2 L-3	松川浦	37.8210° 37.8155° 37.8217°	140.9610° 140.9763° 140.9765°	H27.10.22	藻類・植物	-	-	-	-	プランクトン(浮遊藻類)	-	0.018	-	-	-	-	N.D.(1.9)	4.4	-		
				H27.10.28	種子植物	単子葉植物	-	アマモ	<i>Zostera marina</i>	アマモ	-	-	-	-	-	-	-	0.28	1.2	-	
				H27.10.22	節足動物	軟甲	エビ	モクスガニ	<i>Crangon affinis</i>	イソガニ属	98	0.11	成体	-	-	-	N.D.(0.74)	2.3	-		
				H27.10.22	節足動物	軟甲	エビ	エビジャコ	<i>Crangon affinis</i>	エビジャコ	76	0.018	成体	-	-	-	N.D.(2.5)	N.D.(2.3)	-		
				H27.10.28	軟体動物	二枚貝	カキ	イタボガキ	<i>Crassostrea gigas</i>	マガキ	17	0.37	成体	-	-	-	軟体部	0.39	1.1	-	
				H27.10.28	軟体動物	二枚貝	マルスダレガイ	マルスダレガイ	<i>Ruditapes philippinarum</i>	アサリ	100	0.32	成体	-	-	-	軟体部	0.88	4.7	-	
				H27.10.22	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Gymnogobius breunigii</i>	ヒリンゴ	28	0.071	未成魚/成魚	-	-	-	-	-	N.D.(0.76)	2.5	-
				H27.10.22	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハゼ	<i>Acanthogobius flavinanus</i>	マハゼ											
				H27.10.22	脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>	ボラ	11	0.16	未成魚	-	-	-	-	2.4	9.5	-	

- 1: 生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- 2: 水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- 3: 複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- 4: 生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。
- 5: 成長段階の赤字記載は、鱗または耳石による年齢推定の結果を示す。
- 6: プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40µmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。
- 7: 河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- 8: N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- 9: 放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。